

評価指標(令和3年度)

【基本目標1】 ライフステージに応じた、多様な学習ニーズに応える図書館

重点施策	評価指標	数値目標 (令和3年度)	取組内容	数値目標の説明
図書館機能の拡充	市民1人当たり貸出冊数	8.0冊	図書館サービスの向上に努め利用促進を図る。	令和2年度目標値を継続
	移動図書館車の貸出冊数	130,000冊	図書館の利用が難しい市民に、移動図書館による図書館サービスを提供する。	令和2年度目標値を継続
	予約図書等館外取次サービス利用件数	1,540冊	市内地域間の図書館サービスの均衡を図るよう、予約図書等取次所を設置する。	令和2年度目標値を継続
	図書館分室の貸出冊数	32,000冊	市民の身近な図書館分室の利用促進を図る。	令和2年度目標値を継続
	利用者アンケートにおける満足度	95%	利用者アンケートにより、来館者の満足度を調査する。	令和2年度目標値を継続
市民のニーズに応えることができる蔵書の確保と情報提供の充実	図書館資料総所蔵点数	1,500,000冊	市民のニーズに応えるため、資料の収集・保存に努める。	令和2年度目標値を継続
	ホームページアクセス数	1,200,000件	ホームページを活用して、図書館サービスの情報発信に努める。	令和2年度目標値を継続
	本のソムリエ派遣事業派遣回数	10回	図書館を知り、本に親んでもらうため、本のソムリエ派遣事業のPRに努める。	令和2年度目標値を継続
	新規登録者数	6,500人	市立図書館を利用したことのない市民に図書館の利用を働きかける。	令和2年度目標値を継続
乳幼児、高齢者、障がい者など、すべての市民への図書館サービスの提供	子育て支援コーナー貸出冊数	12,500冊	子育てに関する本や関係資料等を1か所に集め、子育てに役立つ情報を提供する。	令和2年度目標値を継続
	視覚障がい者郵送貸出点数	550点	図書館への来館が困難な視覚障がい者の図書館利用の促進を図る。	令和2年度目標値を継続

	外国語資料等蔵書数	4,400冊	日本語以外の言語を母国語とする市民の利用を促進するため、外国語資料の収集に努める。	令和2年度目標値を継続
--	-----------	--------	---	-------------

【基本目標2】 子どもの読書活動を支える図書館

重点施策	評価指標	数値目標 (令和3年度)	取組内容	数値目標の説明
子どもたちの読書活動と自主的な学習活動の支援	児童書蔵書冊数	400,000冊	児童・生徒やその保護者のニーズに応えるため、児童書の収集・保存に努める。	令和2年度目標値を継続
	子ども読書まつり参加人数	約1,100人	市民の子ども読書に関する意識を高めるため、子ども読書まつりを開催する。	【数値目標見直し】 2,200人→1,100人 感染防止の観点から入場制限など開催方法を見直すため
	図書館を使った調べる学習コンクール出展作品数	35点	図書館資料等を活用した調べる学習を通じ、児童生徒自らが考える力を育むため作品を募集する。	令和2年度目標値を継続
	読書感想画コンクール出展作品数	350点	読書によって得た感動を絵画に表現することを通じて、児童等の読解力等を養うため作品を募集する。	令和2年度目標値を継続
	中学生ビブリオバトル大会応募者数	30人	中学生ビブリオバトル大会への参加を促進する。	令和2年度目標値を継続
学校や学校図書館との連携強化	サンクリスタル学習参加校数	33校	中央図書館等の見学を通じて、市内の小学生の図書館学習等に役立てる。	令和2年度目標値を継続
	図書館学習(こども未来館学習)参加校数	7校	こども未来館学習実施校のうち、図書館学習希望校に、夢みらい図書館で体験的な学習の場を提供する。	令和2年度目標値を継続
	団体貸出による児童書の貸出冊数	39,000冊	学校等への団体貸出を積極的に行う。	令和2年度目標値を継続

【基本目標3】暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館

重点施策	評価指標	数値目標 (令和2年度)	取組内容	数値目標の説明
課題解決に役立つ講座や展示の	ビジネス支援コーナー貸出冊数	5,000冊	ビジネスに役立つ資料等を集約し、ビジネスに関する情報を提供する。	令和2年度目標値を継続

充実	館内展示アンケートで興味を持ったと回答した人数	240人	毎月テーマを設定して展示を行い、図書館の利用を促進する。	令和2年度目標値を継続
レファレンスサービスの充実	レファレンス相談対応件数(所蔵調査を除く)	12,900件	市民の多様な質問や調査に対し、適切な対応ができるようレファレンスの強化に努める。	令和2年度目標値を継続
	レファレンスデータベース登録件数	490件	レファレンスサービス事例のデータベース化を進め、調査に役立つ情報を提供する。	令和2年度目標値を継続
	郷土資料蔵書冊数	38,000冊	本市を中心として香川県に關係のある郷土資料を、積極的に収集・保存を図る。	令和2年度目標値を継続

【基本目標4】 協働や連携で多彩なサービスを提供する図書館

重点施策	評価指標	数値目標 (令和3年度)	取組内容	数値目標の説明
市民との協働の推進	図書館ボランティア養成・スキルアップ講座等参加人数	90人	図書館ボランティアの養成・支援を行い、協働を推進する。	【数値目標見直し】 140人→90人 感染防止の観点から開催方法を見直す予定のため
	子どもボランティア養成講座参加人数	14人	子どもの読書活動推進と、ボランティア活動の意義、重要性の啓発のため開催する。	【数値目標見直し】 12人→14人 令和3年度の募集計画人数を目標に設定
他の機関との連携・協力の推進	庁内各部局との連携事業の開催	8回	庁内各部局と連携した事業を開催し、情報の提供を図る。	令和2年度目標値を継続
	大学等連携事業開催回数	8回	大学等と連携した事業を開催し、情報の提供を図る。	令和2年度目標値を継続
	図書館間相互貸借資料数	1,800冊	市民が必要とする資料を提供するため、高松市図書館が所蔵していない資料を相互貸借により提供する。	令和2年度目標値を継続